



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年5月13日

上場会社名 ジャパンシステム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9758 URL <http://www.japan-systems.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阪口 正坦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 村中 達郎 TEL 03-5309-0300
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の業績（平成27年1月1日～平成27年3月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	2,063	△7.8	70	△41.0	75	△40.7	43	△50.0
26年12月期第1四半期	2,237	20.3	119	46.6	126	28.2	86	12.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	1.66	—
26年12月期第1四半期	3.32	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第1四半期	5,466	4,241	77.6	162.92
26年12月期	5,456	4,264	78.2	163.78

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 4,241百万円 26年12月期 4,264百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	3.50	3.50
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期（予想）	—	0.00	—	3.50	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

当社の平成27年12月期の売上高は前事業年度に対して30%程度の成長を見込み、営業利益率は6%を目標にしていますが、現時点で合理的な業績予想を算出することが困難なため、開示しておりません。今後、業績予想が可能になりました段階で改めて公表します。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期1Q	26,051,832株	26年12月期	26,051,832株
② 期末自己株式数	27年12月期1Q	15,768株	26年12月期	15,768株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期1Q	26,036,064株	26年12月期1Q	26,036,907株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策、日銀の金融政策や原油価格の下落などを背景に、輸出関連企業や内需関連の大手企業などの収益が改善し、雇用情勢に改善が見られ、ゆるやかに回復の基調を示しながら推移してまいりました。

情報サービス産業におきましては、企業のITインフラ更新やクラウドコンピューティングの普及、SNSの利用拡大などにより、各企業のIT投資は改善の傾向が現れ始めてまいりました。

このような情勢の中、当社は「公共事業本部」「エンタープライズ事業本部」「システム基盤事業本部」の3本部が相乗効果を生出す体制(Trinity体制)により既存ビジネスの成長と新たなビジネスを創出し、2016年12月期に売上高150億円を達成する中期経営計画の実現に向けて事業規模の拡大に取り組んでおります。

当第1四半期累計期間の経営成績につきましては、売上高は2,063百万円(前年同四半期比7.8%減)となりました。また営業利益は70百万円(前年同四半期比41.0%減)、経常利益は75百万円(前年同四半期比40.7%減)、四半期純利益は43百万円(前年同四半期比50.0%減)となりました。

サービス品目別の売上高は次のとおりであります。

①アプリケーションソフトウェア開発

アプリケーションソフトウェア開発は、主に官公庁、金融、通信、公益、製造、流通及び官公庁などの業務ソフトウェア開発が中心であります。当第1四半期累計期間におきましては、売上高は1,413百万円(前年同四半期比0.0%減)となりました。

②パッケージソフトウェア開発

パッケージソフトウェア開発は、主に自治体を中心とする行政経営支援サービス(FAST)及びPCセキュリティ/アクセス管理ソリューション(ARCACLAVISシリーズ)が中心であります。当第1四半期累計期間におきましては、売上高は482百万円(前年同四半期比13.8%増)となりました。

③コンピュータ機器等販売

コンピュータ機器等販売は、主に自治体及び一般企業を取引先として、コンピュータ機器とその周辺機器やネットワーク製品を中心とした販売が中心であります。当第1四半期累計期間におきましては、売上高は167百万円(前年同四半期比58.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期会計期間末における総資産は5,466百万円となり、前事業年度末と比べ10百万円の増加となりました。流動資産は、現金及び預金が増加した一方で、受取手形及び売掛金、仕掛品が減少したこと等により27百万円減少し4,062百万円となりました。固定資産は、投資その他の資産が増加した一方で、有形固定資産が減少したこと等により37百万円増加し1,403百万円となりました。

(負債及び純資産の部)

負債は、前受金、預り金が減少した一方で、未払法人税等、賞与引当金が増加したこと等により前事業年度末に比べ32百万円増加し1,224百万円となりました。

純資産は四半期純利益が発生し、その他有価証券評価差額金が増加した一方で、配当金を支出したこと等により22百万円減少し4,241百万円となり、自己資本比率は77.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の平成27年12月期の売上高は前事業年度に対して30%程度の成長を見込み、営業利益率は6%を目標にしていますが、現時点で合理的な業績予想を算出することが困難なため、開示しておりません。

今後、業績予想が可能になりました段階で改めて公表します。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,113,389	2,268,239
受取手形及び売掛金	1,653,024	1,453,695
商品	51,649	40,479
仕掛品	96,620	64,647
その他	179,322	239,449
貸倒引当金	△4,035	△3,592
流動資産合計	4,089,972	4,062,918
固定資産		
有形固定資産	94,122	88,104
無形固定資産	697,872	717,555
投資その他の資産		
長期預金	100,000	100,000
その他	474,087	498,047
投資その他の資産合計	574,087	598,047
固定資産合計	1,366,082	1,403,707
資産合計	5,456,054	5,466,626
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	333,661	348,836
短期借入金	150,000	150,000
未払金	208,169	170,575
未払法人税等	21,034	89,393
前受金	131,173	77,780
預り金	112,564	50,837
賞与引当金	47,978	197,367
その他	128,180	80,505
流動負債合計	1,132,762	1,165,295
固定負債		
長期未払金	214	214
資産除去債務	58,987	59,221
固定負債合計	59,201	59,435
負債合計	1,191,964	1,224,731

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,302,591	1,302,591
資本剰余金	1,883,737	1,883,737
利益剰余金	1,056,597	1,008,778
自己株式	△4,272	△4,272
株主資本合計	4,238,653	4,190,834
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,436	51,060
評価・換算差額等合計	25,436	51,060
純資産合計	4,264,090	4,241,895
負債純資産合計	5,456,054	5,466,626

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	2,237,633	2,063,306
売上原価	1,752,872	1,608,582
売上総利益	484,761	454,723
販売費及び一般管理費	365,139	384,182
営業利益	119,622	70,541
営業外収益		
受取利息	328	298
受取配当金	4,326	4,451
貸倒引当金戻入額	3,000	—
その他	596	606
営業外収益合計	8,251	5,356
営業外費用		
支払利息	549	545
その他	409	150
営業外費用合計	959	695
経常利益	126,914	75,202
特別利益		
事業構造改善引当金戻入額	16,281	—
特別利益合計	16,281	—
特別損失		
固定資産除却損	0	99
特別損失合計	0	99
税引前四半期純利益	143,195	75,102
法人税、住民税及び事業税	25,528	83,900
法人税等調整額	31,133	△52,104
法人税等合計	56,662	31,795
四半期純利益	86,532	43,307

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、情報サービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。